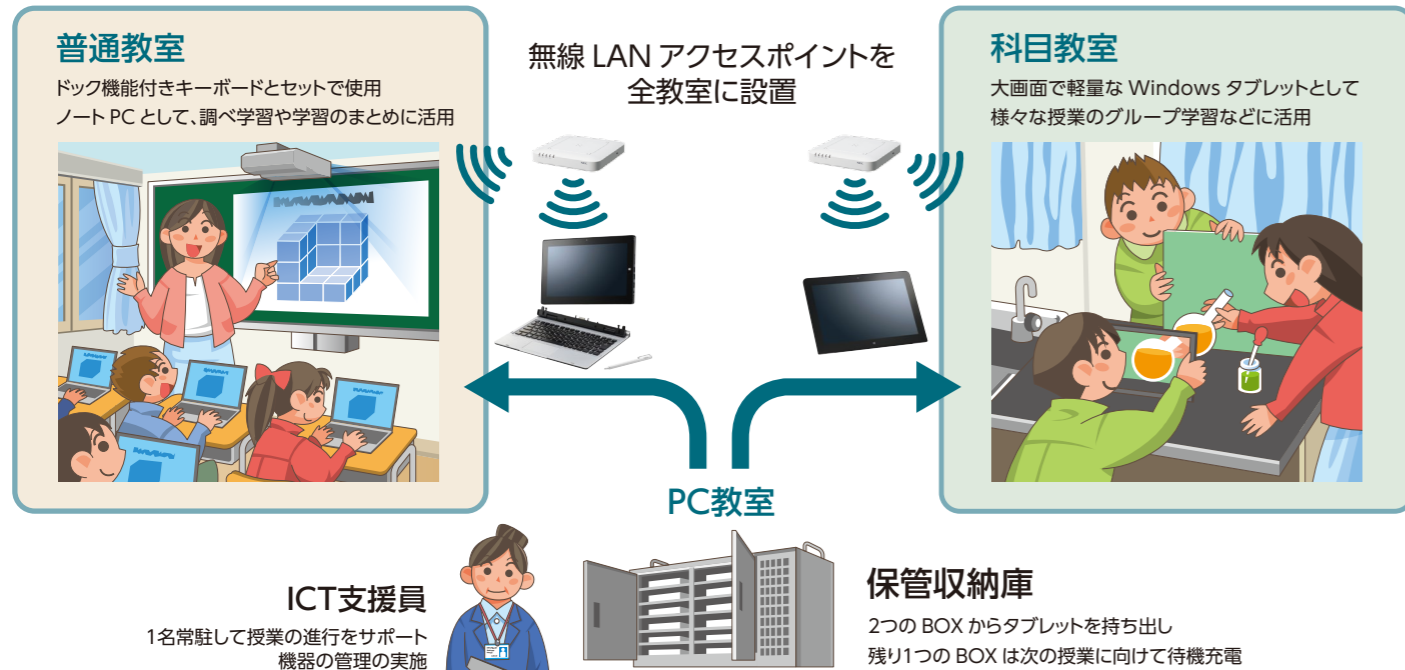


コンピュータ室からタブレットPCを持ち出し、全教室さまざまな授業で活用

ノートPCのように使えるタブレットPCを各授業で活用。「ICTレンジャー」の先生たちを中心に日常的な相互研鑽を積み重ねて成果が生まれ、「自分の力で学び、他人の意見も聞ける力をつける」タブレットPCを活用した授業にはたくさんの工夫が盛り込まれています。



用途に合わせて選べるNECのICT機器

● 教育現場のニーズに応える操作性を追求。大画面 11.6型タブレットPC

**VersaPro**  
タイプ **VS**

Windows

※IGZOロゴはシャープ株式会社の登録商標です。

11.6型  
ワイド

ファンレス、薄型軽量ボディ

最大 約11時間\*のスタミナバッテリー駆動

※:バッテリー駆動時間は、JEITA/バッテリー動作時間測定法 (Ver.2.0) に基づいて測定した  
目安時間です。  
※:キーボードとタブレット保護カバーは、セレクションメニューで選択となります。

タブレット保護カバー (防塵防滴) を選択可能

授業内容に応じてスタイルを変えられるドック機能付きキーボード

スタンドモードで動画視聴・発表に

キーボードに重ねてペン入力

ノートPCとしてキー入力

角度調節可能

● 教育現場で求める性能を凝縮した、軽量薄型10.1型タブレットPC

**VersaPro**  
タイプ **VT**

Windows

10.1型  
ワイド

タブレット保護カバー  
(防塵防滴) を選択可能。

※:写真のキーボードは、セレクションメニューで  
選択となります。

● 電子黒板

65型

タッチパネル内蔵  
ディスプレイタイプ

Windows タブレットの  
操作性を大画面で可能に  
する電子黒板

プロジェクター・  
一体型タイプ

専用電子ペンで書き込む  
82 型大画面ボード

82型

**⚠ 安全に関するご注意** ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。●本商品は24時間以上の長時間連続使用を前提とした設計になっておりません。バッテリーパックは消耗品です。バッテリー駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリーと交換、または「バッテリー交換サービス」をご利用ください。

商品の最新情報を下記で提供しています。

NEC ビジネスPC情報発信サイト  
<http://jpn.nec.com/bpc/school-ict/>

●Microsoft、Windows、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面を使用しています。●BrainBoardは、NECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。  
●その他本カタログに記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。  
●本カタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することや供給を停止することがありますのでご了承ください。●本カタログで使用されている商品は、本カタログおよび広告用に撮影したものです。そのため、実際の商品とはデザイン、外観などで多少異なることがあります。また、写真は印刷のため、商品の色と多少異なる場合があります。●画面はハメコミ合成です。●商品写真の大きさは同比率ではありません。

11.6型大画面タブレットPCの活用で子供たちが変わる  
自ら学ぶ姿勢と協働する能力を育成

徳島県阿波市教育委員会 様



# JAETによる学校情報化優良校に認定。大画面タブレットPCを さまざまな教科で活用し、児童が主体的・協働的に 学習に取り組むアクティブ・ラーニングを実践

NEC がおすすめする Windows 10 Pro.

学校情報化に熱心な阿波市は、2016年度の「全国市区町村 公立学校情報化ランキング（公立小学校）2016」（日経BP社）で17位に選ばれました。そのモデル校に位置付けられている一条小学校では、早くから学校情報化に取り組む、2016年11月にはJAET（ジャエット：日本教育工学協会）が選定する学校情報化優良校に認定されました。タブレットPCを授業に活用し、アクティブ・ラーニングの実践、すなわち児童が主体的かつ協働的な学習を実践し、目ざましい成果が生まれつつあります。

## 県や市が一体となって学校情報化を推進 一条小学校をモデル校として波及することを計画



阿波市教育委員会  
阿波市教育研究所  
ICT教育担当研究員  
村上 哲治 様

阿波市では教育委員会の中に教育研究所を設けて、ICT活用教育の研究および調査を行っています。同研究所の村上様から、阿波市および一条小学校の取り組みについてお聞きしました。「阿波市では徳島県の情報教育部会と共同プロジェクトを組み、アクティブ・ラーニング実現のために、児童が主体的・協働的に学習する環境整備を進めてきました。2015年夏のリブレースを機に、市内の小中学校

14校にタブレットPCを導入。PC教室だけでなく普通教室にも無線LANのアクセスポイントを設け、普段の授業で気軽に使える環境を整備しました。2015年度には、ICT活用教育の研究に非常に熱心で、さまざまな場面に活かしている一条小学校を「阿波市型学校情報化計画」のモデル校に選抜。その実践から得たものを、市内の小中学校全体に波及させたいと考えています。」

## “ICTレンジャー”の先生たちを中心に日常的な相互研鑽を積み重ねて児童の成長を実感

一条小学校での具体的な取り組みについて、福井校長にお聞きしました。「このたびJAET優良校に認定されましたが、これは情報化の推進体制を整え、教科指導においてICT活用、情報教育、校務の情報化に積極的に取り組んでいることを認められたということで、全職員に大きな励みとなりました。2016年11月に本校で開催された徳島県小学校放送・情報教育研究大会では、実践例を多数発表し、参加された他校の先生方から高く評価されたことで、本校のICT活用教育の先進性をあらためて認識しました。理科、算数、英語、体育など

の授業で、動画やアプリを効果的に使って学習効果を上げています。先生たちは日ごろから自主的に勉強会を開催。ICTに詳しい先生たちは“ICTレンジャー”と呼ばれ、さまざまな相談を引き受けています。また、阿波市からICT専門の支援員が派遣されている他、校務支援ソフトも導入され、先生たちの負担を軽減しています。タブレットPCを導入して1年余が経過しましたが、児童の積極性、コミュニケーション能力は確実に成長したと実感しています。」



阿波市立一条小学校  
校長  
福井 健 様



■ICT支援員がタブレットPCを使用するすべての授業に付き添ってサポートします。



■PC教室の保管収納庫から持ち出して使用。使用後は元に戻してバッテリーを充電します。専用キーボードやデジタイザペンも一緒に収納しています。

## タブレットPCはできるだけ大画面で、Windowsのソフト資産が使えるものから選定

一条小学校のタブレットPC導入の経緯について、ICT導入の初期の頃から学校情報化に取り組む教頭の服部清孝先生に話をお聞きしました。「導入にあたって、これからはタブレットPCの時代だと思い、2015年のリブレース時にタブレットPCの導入を要望しました。選定の目安にしたのは、児童が持ち運べる範囲でできるだけ画面が大きいことと、Windowsのソフト資産が使えることでした。入札の結果、11.6型の画面を持つNECの「VersaPro

タイプVS」が35台導入されました。機器が使いやすくなったことで、児童は自発的に学ぶとする姿勢に変わり、先生は授業を工夫しようと意欲的になり、授業改善のためのICT活用が動き出しました。校務支援ソフトも、より使い勝手の良いものに自分たちで作り込もうとしています。先生たちが、児童に目を向ける時間をもっと多くして、成長する児童たちからも学べるのが「一条スタイル」の協働です。」

## 「自分の力で学び、他人の意見も聞ける力をつける」 タブレットPCを活用した授業にはたくさんの工夫を用意し、アクティブ・ラーニングを実践

一条小学校の先生は、授業の中にタブレットPCを工夫しながら活用しています。6年生の社会では、児童が外部サイトで調べた結果をワークシートに記入してタブレットPCで撮影。共有サイトにアップし、投写画像で発表を行います。5年生の国語では、各班に分かれてサーバ内の情報を検索し、「良い点」「悪い点」にまとめたものを発表する協働的な作業に活用しています。4年生の理科では、グループごとに実験の様子をタブレットPCで撮影し、はじめに立てた仮説と比べてどのような結果になったかを発表。3年生の社会では、先生がHTMLで作成した教材コンテンツを、タブレットPCを使って学習するなど、それぞれの先生が習熟度に適した方法を探りながら、児童の読む力、書く力、まとめる力、発表する力のレベルアップにタブレットPCを活用しています。



■タッチ操作やペン入力など必要に応じて使い分けが可能です。



■タブレットPCの大きな画面を見ながら実験の様子を撮影して、状態の変化を確認します。



■普通教室では専用のキーボードを組み合わせ、ノートPCのように使います。着脱がスムーズなのでタブレットPCとしてもすぐに使えます。



■無線LAN、バッテリー駆動への対応により、ケーブルが不要。教室が自由に使えるため、様々な教科で活用しています。



■「VersaPro タイプVS」は、みんなで使う協働学習でも見やすい11.6型の大画面です。



■操作が不慣れな低学年の児童は、画面下のタスクバーの機能ボタンも活用。習熟度に応じた操作方法で授業を進めます。

導入事例について詳しくはこちら → <http://jpn.nec.com/bpc/school-ict/> の「導入事例」をクリック

### お客様紹介

#### ● 阿波市教育委員会 様

<http://www.city.awa.lg.jp/soshiki/yoshino-kyouikuinkai/>  
まちづくりにとって、教育は特に重要な役割を担っているという考えから、阿波市では教育委員会が中心となって、市の将来を担う人材を育成するため、学校教育をはじめとする教育行政の基本理念を、「未来をつくる力 たくましく生きる力 郷土を愛する心」と定めています。さらに、「人が輝く まちが輝く 未来が輝く（阿波の人づくりプラン）」を基本目標に、7つの教育目標とともに策定し、「輝く阿波市に輝く未来」の実現を目指しています。

#### ● 阿波市立一条小学校 様

<http://e-school.e-tokushima.or.jp/awa/es/ichijyo/html/htdocs/>  
2016年に創立140年を迎えた阿波市立一条小学校は、「自主、誠実、親和」の校訓を掲げています。校区には吉野川が流れ、水と緑に包まれた豊かな自然環境のなかで、子どもたちは生き生きと学校生活を送っています。教育目標は「一人ひとりを生かした人間尊重の教育」とし、「基本的な生活習慣を身につけ、自己肯定感を高めて、共に生きていこうとする」心豊かな児童を育てることを目指しています。

### ● ICTの力で地元貢献したい

一条小学校をはじめとする阿波市内各校の情報化をお手伝いしています。導入後のフォローこそが重要だと考え、学校に頻繁にお伺いして情報化のお手伝いや講演会、セミナーのご案内をしています。導入して1年余ですが、先生も児童もよく使いこなしていると感心します。これからもICTの力で、地元貢献していきたいと思っています。

営業担当：  
有限会社  
アイシーランド・マツノ  
代表取締役

松野 達也 氏

